

シャイン研修

見よう見まねからの脱却！

教え上手になるための健康教育のつくり方

シャイン研修とは、産業保健師を対象に
“輝く 明日の私と仕事”をテーマにした体験型
研修です。このレポートでは、1月に行われた
研修の一部をご紹介します。

開催日時：2025年1月24日 18:30-20:00
会場：アポプラスキャリア株式会社 本社内
講師：久保さやか 看護師 保健師
アポプラスキャリア株式会社 エグゼクティブアドバイザー

テーマは、健康教育

健康教育は、労働衛生の5管理（総括管理、作業環境管理、作業管理、健康管理、労働衛生教育）の一環であり、労働安全衛生法においても、労働者の健康保持増進を図るための必要な措置として定められています。さらに、近年では健康経営優良法人認定においても、従業員のヘルスリテラシー向上施策の一つとして重視されており、産業保健師が健康教育に携わることも増えています。

今回のシャイン研修では、健康教育のうち、特に研修について、企画から評価までのプロセスを整理し、組み立て方を学びました。

いきなりパワーポから作らない

研修をやらなきゃならない！となったとき、いきなりパワーポイントを開いていませんか？

教育や研修を設計する際のフレームワークとして有効なのが、ADDIEモデルです。これは、分析（Analyze）、設計（Design）、開発（Develop）、実施（Implement）、評価（Evaluate）の5段階で構成されます。まず従業員や組織の課題を分析し、効果的な学習設計を行った上で、教材を開発・実施。その後、成果を評価し、改善につなげることで、効果的な研修設計が可能になります。

パワーポイントづくりは、ADDIEモデルに従うと、「開発」の3段階めです。

P D C Aサイクルと同じように、まずは、情報収集と分析をすることからはじめ、健康教育を設計していきます。

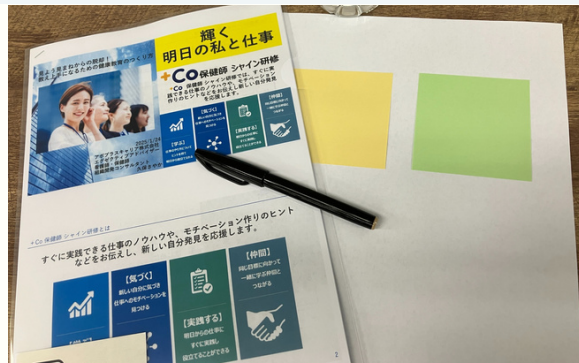
評価も事前に設計しておく

本来、研修の評価方法は、研修内容を作り終えてからではなく、最初の「分析」で決めるべきものです。

研修のゴールをできるだけ具体的に設定し、いつ、誰から、どのような評価データを取得するのかを明確にし、実施可能な範囲で計画します。評価の深さを決める際には、カークパトリックの4段階評価を参考にし、最低限の参加者アンケートに加えて、学習の定着度や行動変容なども考慮します。ただし、評価のレベルが深くなるとコストや負担が増すため、無理ない範囲で設計することが重要です。

はじめて研修を行う時は、テーマの決め方や資料作成に戸惑うだけでなく、講師を務めることも緊張するもの。まずは短時間でも良いので、実際に講師を経験し、場数を積み重ねることが大切です。ぜひ挑戦してみましょう！

次回のシャイン研修もお楽しみに！



参加者の感想

健康教育の全体の流れとともに実際に行動していくイメージもわきやすかったです。今まで漠然としていた部分のヒントがもらえました。



自分で研修の設計するには、どうしたら良いかを具体的に想像しながら、参加することができました。企画の基本から教えていただき、わかりやすかったです。



お問合せ先

アポプラスキャリア株式会社
ヘルスケアソリューション事業部
カスタマーサクセス
〒100-0005
東京都千代田区丸の内三丁目3番1号
新東京ビル7階
TEL 0120-842-862
MAIL apc-kan543@ap-c.co.jp